科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4年 6月20日現在

機関番号: 34310

研究種目: 研究活動スタート支援

研究期間: 2020 ~ 2021

課題番号: 20K21999

研究課題名(和文)平家物語の伝本関係の再構築 語句分析を手段として

研究課題名(英文)Reconstruction of the Relationships Among Variant Manuscripts of the Heike Monogatari : Detailed Analysis of the Words and Phrases

研究代表者

城阪 早紀(KISAKA, Sauki)

同志社大学・研究開発推進機構・助手

研究者番号:60852605

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 1,600,000円

研究成果の概要(和文): (1) 『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』について、どの語句が何回使われているのかをまとめた「平家物語伝本語句対照表」を作成し、一方にのみ使われる語句・多く使われる語句にはどのようなものがあるかを明らかにした。 (2) 批評句として用いられる形容詞「うたてし」「あさまし」などを取りあげ、両本における使用基準の明確な差異を把握した。この差異は、一作品の異文の範疇を超えるものである。

研究成果の学術的意義や社会的意義 研究期間内の成果は、これまで『平家物語』の異本として位置づけられてきた覚一本・延慶本を、それぞれの編纂方針に基づく別作品『覚一本平家物語』・『延慶本平家物語』と捉え直すのが妥当ではないかと問題提起するものである。伝本関係の再構築にあたり、調査対象を『覚一本平家物語』・『延慶本平家物語』以外にも広げること、それに伴って検討する語句を多くすることが、さしあたり取り組むべき課題である。

研究成果の概要(英文): (1) This project has made a comparison table of words and phrases of "Kakuichi-bon Heikemonogatari" and "Enkyo-bon Heikemonogatari" that shows which words and phrases are used and how many times. This table shows which words are used only in one or the other, and which are used a lot.

(2) An analysis of the adjectives "utateshi" and "asamashi", words used in criticism, reveals clear differences in meaning and usage between "Kakuichi-bon Heikemonogatari" and "Enkyo-bon Heikemonogatari". This difference indicates that the two manuscripts are different works.

研究分野: 日本文学

キーワード: 軍記物語 『覚一本平家物語』 『延慶本平家物語』 語句

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

一般に『平家物語』という書名は、「平家物語」と称される伝本群(覚一本・屋代本・延慶本・長門本・南都本・四部合戦状本など)と「源平」を冠する伝本(源平闘諍録・源平盛衰記)の総称である。これら多くの伝本を、どのように関係づけ、理解するかという問題がまずあり、平家物語研究は諸本論を中心に進められてきた。

伝本の相違は、物語中の出来事や説話を年表のようにまとめて構成を比較する方法や、章段や 説話の本文を対照させて表現を比較する方法によって検討されてきた。しかし、その目的が伝本 の先後関係を明らかにすること・古態の究明に重きが置かれていたためか、その相違は、延慶本 的本文から覚一本へ、つまり未整理の段階にあったものが整えられ文学的な達成を遂げた、のよ うな図式で把握されることが多かった。

しかしながら、平家物語伝本の相違には、物語の質に関わるものも認められるように思われる。 伝本に独自の編集方針があることを明らかにすれば、これまで『平家物語』の一伝本として扱われてきた覚一本と延慶本とを、『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』というように、一つの作品として捉えるという、新たな伝本関係を構築できると考えた。

2.研究の目的

この研究は、『覚一本平家物語』(以下「覚一本」)と『延慶本平家物語』(以下「延慶本」)の編纂方針を、語句分析から明らかにし、両本の相違と明らかにすることを目的とする。

3.研究の方法

次のように、研究を進めた。

(1)本文の選定

覚一本と延慶本の本文は、次を用いた。

覚一本(龍谷大学本)

覚一本の語句の整理には、

金田一春彦・清水功・近藤政美編『平家物語総索引』学習研究社、1973年。 を用い、

笠栄治編『平家物語総索引』(復刻版)牧野出版、1998年(初版 1973年)。

も参照した。本文は、両索引が拠っている

高木市之助・小澤正夫・渥美かをる・金田一春彦校注『平家物語』上・下(日本古典文学 大系)岩波書店、1959-60年。

を用いた。章段の設け方・名称もそれに拠り、その主たる底本である龍谷大学本が持たない本文 (巻1「祇王」や巻9「小宰相」)も取り上げた。

龍谷大学佛教文化研究所編『平家物語』一~四(龍谷大学善本叢書)思文閣出版、1993 年。

<u>延慶本(応永書写本)</u>

延慶本の語句の整理には、

北原保雄・小川栄一編『延慶本平家物語・索引編』上・下、勉誠社、1996年。

を用い、本文は索引が拠っている

北原保雄・小川栄一編『延慶本平家物語・本文篇』上・下、勉誠社、1999年(初版 1990

年)。

を用い、影印と注釈書も参照した。

延慶本注釈の会編『延慶本平家物語全注釈』ー~十二・別巻、汲古書院、2005-21年。 『延慶本平家物語』ー~六(大東急記念文庫)汲古書院、1982-83年。

(2)語句の収集・整理

物語の編纂方針の相違を明らかにするために、下の基準で語句を選出することにした。下の語を中心に、関連語・複合語を合わせて 500 語余りの用例収集・整理を行った。

「うたてし」「あさまし」など、物語内容を批評する語句

「勅勘」「朝敵」など、歴史・物語認識に関わる語句

「理」「忠」など、道理・善悪に関わる語句

「縁」「浄土」など、仏教語

(3)関連書籍・辞典

平家物語の語句・事象をまとめた辞典・事典として、 ~ がある。 は覚一本(高野本)の 語彙を他の作品を対照させている。これらを参照しつつ、語句の分析を進めた。

市古貞次編『平家物語辞典』明治書院、1973年。

市古貞次編『平家物語研究事典』明治書院、1978年。

大津雄一・日下力・佐伯真一・櫻井陽子編『平家物語大事典』東京書籍、2010年。

宮島達夫・鈴木泰・石井久雄・安部清哉編『日本古典対照分類語彙表』笠間書院、2014年。

4. 研究成果

研究成果は、成果報告書(『語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を 考える』、国立国会図書館書誌 ID:032057298) および、雑誌論文にまとめた。

これらの成果は、これまで平家物語の異本として位置付けられてきた覚一本・延慶本を、それぞれの編纂方針に基づく別作品と捉え直すのが妥当ではないかと問題提起するものである。 伝本関係の再構築にあたり、調査対象を覚一本・延慶本以外にも広げること、それに伴って検討する語句を多くすることが、さしあたり取り組むべき課題である。

(1)語句対照表

覚一本と延慶本において、どの語句が何回使われているかを、対照して表にまとめた。すなわち、五十音順で、「あさまし」「うたてし」「うん(運)」「えん(縁)」「きたなし」「ことわり(理)」「じやうど(浄土)」「たのもし」「ちゆう(忠)」「ちよく(勅)」「ついたう(追討)」「てうてき(朝敵)」「てん(天)」「はぢ(恥)」「ふしぎ(不思議)」「ぶつぽふ(仏法)」「むほん(謀叛)」「らうぜき(狼藉)」「わうぼふ(王法)」とその複合語・連語や関連語、合計350語余りについて、その用例数を対照させ、語句の意味・用法の理解を助けるための用例を記した。

▶ 城阪早紀「平家物語伝本語句対照表試稿」『語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家 物語』の相違を考える』成果報告書、2022 年 3 月、pp.2-36。

(2)語句の意味・用法

特にいくつかの語句を取り上げて、意味・用法を詳述し、両本における使用基準の明確な差異を把握した。具体的には、編者が物語中の人物や出来事をどのように捉えたかを知ることができる批評句(3.(2) に相当)「うたてし」「あさまし」と、「うたてし」と同様に負の評価を示す「まさなし」・「きたなし」について分析した。

「うたてし」

覚一本の「うたてし」は、平家一門をはじめ滅び行く者の嘆きを示したり、藤原成親・平清盛

など世を乱した人物を非難したりする語であり、物語展開と関わって主要人物への評として使われる語である。対する延慶本の「うたてし」は、後白河法皇を含め世にある全ての人の、世を疎ましく思う心情や、世に執心する人への嘆きが読み取れる語であり、物語内容を仏教的に価値付ける語である。

- ▶ 城阪早紀「『覚一本平家物語』の「まさなし」と「うたてし」 語句分析から伝本の相違 を考える 」『同志社国文学』95、2021 年 12 月、pp.15-30。
- ▶ 城阪早紀「『延慶本平家物語』の「きたなし」・「まさなし」と「うたてし」 語句分析から伝本の相違を考える(二) 」『同志社国文学』96、2022年3月、pp.9-24。

「あさまし」

覚一本は、「あさまし」を治承四年の平清盛の悪行に集中して用いることで、王法・仏法が滅びるという前代にはなかった「あさましき」事態の到来を物語る。一方の延慶本が物語を捉える射程は覚一本よりも長く、先例を引くことによって「あさましき」ことが繰り返されてきた歴史の連続性のなかに源平の興亡を位置づけている。

▶ 城阪早紀「平家物語「あさましき」こと考語句分析から伝本の相違を考える(三) 同志社大学文化学会編『文化学年報』71、2022年3月、pp.417-449。

そのほかの語句

そのほか、研究協力者による「天」「鬼」「鬼神」「法華経」についての分析がある。

- ▶ 嶋中佳輝「『平家物語』「天に仰ぎ」考」『語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える』成果報告書、2022 年 3 月、pp.38-47。
- ▶ 八木智生「『平家物語』の「鬼」と「鬼神」」『語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家 物語』の相違を考える』成果報告書、2022 年 3 月、pp.48-64。
- ▶ 髙山卓「『平家物語』における表現としての「法華」」『語句分析から『覚一本平家物語』と『延 慶本平家物語』の相違を考える』成果報告書、2022 年 3 月、pp.65-73。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計7件(うち査読付論文 2件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 7件)

# カープンアクセス 国際共著 カープンアクセスとしている(また、その予定である) コープンアクセスとしている(また、その予定である) カープンアクセスとしている(また、その予定である) カープンアクセスとしている(また、その予定である) カーズ で は、著者名 域	【雑誌論文】 計7件(うち査読付論文 2件/うち国際共著 0件/うちオーブンアクセス 7件)	
域内	1.著者名	4 . 巻
2. 論文標題	—	
「関一本平家物語。の「まさなし」と「うたてし」 語句分析から伝本の相違を考える 2021年 2022年 15 - 30 目標計画文字 6 - 最初と最後の頁 15 - 30 目標計画文字 6 - 最初と最後の頁 15 - 30 目標計画文字 7 - ブンアクセス 1 - 英書名 (15 - 30 目標計画 20 - 24 - 25 - 25 - 25 - 25 - 25 - 25 - 25	7条72大 一 かし	
「関一本平家物語。の「まさなし」と「うたてし」 語句分析から伝本の相違を考える 2021年 2022年 15 - 30 目標計画文字 6 - 最初と最後の頁 15 - 30 目標計画文字 6 - 最初と最後の頁 15 - 30 目標計画文字 7 - ブンアクセス 1 - 英書名 (15 - 30 目標計画 20 - 24 - 25 - 25 - 25 - 25 - 25 - 25 - 25		
7	2.論文標題	5.発行年
7	『覚一本平家物語』の「まさなし」と「うたてし」 語句分析から伝本の相違を考える	2021年
		•
	2 株社夕	6 是知と是後の百
指載論文の201 (デジタルオブジェクト議別子) なし 日際共著 日 日 日 日 日 日 日 日 日		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1 悪名名 域際早紀 4 . 巻 96 5 . 発行年 2022年 (一)	同志在国文字	15 - 30
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1 悪名名 域際早紀 4 . 巻 96 5 . 発行年 2022年 (一)		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1 悪名名 域際早紀 4 . 巻 96 5 . 発行年 2022年 (一)		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1 悪名名 域際早紀 4 . 巻 96 5 . 発行年 2022年 (一)	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	杏蒜の有無
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	40	1
オープンアクセスとしている(また、その予定である)		ET DAY III det
1 ・著者名 域版早紀		国際共者
1 ・著者名 域版早紀	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
域販学紀 2		
域販学紀 2	1 笠2夕	4 ₩
2 論文標題		
『延慶本平家物語』の「まさなし」・「きたなし」と「うたてし」 (二) 語句分析から伝本の相違を考える 2022年 3 . 雑誌名 同志社国文学 6 . 最初と最後の頁 9 - 24 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 4 . 巻 71 2 . 論文標題 平家物語「あさましき」こと考 語句分析から伝本の相違を考える(三) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 文化学年報 6 . 最初と最後の頁 417 - 449 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 1 . 著書名 域版早紀 4 . 巻 - 2 . 論文標題 平家物語」本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から「覚ー本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2 - 36 掲載論文の0001(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	城阪早紀	96
『延慶本平家物語』の「まさなし」・「きたなし」と「うたてし」 (二) 語句分析から伝本の相違を考える 2022年 3 . 雑誌名 同志社国文学 6 . 最初と最後の頁 9 - 24 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 4 . 巻 71 2 . 論文標題 平家物語「あさましき」こと考 語句分析から伝本の相違を考える(三) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 文化学年報 6 . 最初と最後の頁 417 - 449 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 1 . 著書名 域版早紀 4 . 巻 - 2 . 論文標題 平家物語」本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から「覚ー本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2 - 36 掲載論文の0001(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
『延慶本平家物語』の「まさなし」・「きたなし」と「うたてし」 (二) 語句分析から伝本の相違を考える 2022年 3 . 雑誌名 同志社国文学 6 . 最初と最後の頁 9 - 24 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 4 . 巻 71 2 . 論文標題 平家物語「あさましき」こと考 語句分析から伝本の相違を考える(三) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 文化学年報 6 . 最初と最後の頁 417 - 449 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 1 . 著書名 域版早紀 4 . 巻 - 2 . 論文標題 平家物語」本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から「覚ー本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2 - 36 掲載論文の0001(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	2 . 論文標題	5 . 発行年
(二) 3 「雑誌名		
3 . 雑誌名		2U22 '+
同志社国文学		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著名名		6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著名名	同志社国文学	
なし 有 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著者名 城阪早紀 4 . 巻 71 2 . 論文標題 平家物語「あさましき」こと考 語句分析から伝本の相違を考える(三) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 文化学年報 6 . 最初と最後の頁 417 - 449 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著 2 . 論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚ー本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2 - 36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著	130 1225	
なし 有 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著者名 城阪早紀 4 . 巻 71 2 . 論文標題 平家物語「あさましき」こと考 語句分析から伝本の相違を考える(三) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 文化学年報 6 . 最初と最後の頁 417 - 449 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著 2 . 論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚ー本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2 - 36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著		
なし 有 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著者名 城阪早紀 4 . 巻 71 2 . 論文標題 平家物語「あさましき」こと考 語句分析から伝本の相違を考える(三) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 文化学年報 6 . 最初と最後の頁 417 - 449 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著 2 . 論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚ー本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2 - 36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著	担手込みでの0.1 / デンタリナインショク 幼のリフト	木芸の左仰
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1、著者名 域版甲紀 2・論文標題 平家物語「あさましき」こと考 語句分析から伝本の相違を考える(三) 3・雑誌名 文化学年報 4・巻 カープンアクセスとしている(また、その予定である) 1、著者名 域版早紀 1、著者名 域版早紀 1、著者名 域版早紀 2・論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5・発行年 2022年 1・著者名 域版中紀 2・論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5・発行年 2022年 3・雑誌名 京が標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5・発行年 2022年 3・雑誌名 京が標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5・発行年 2022年 3・雑誌名 音句分析から『覚ー本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6・最初と最後の頁 2・36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 据載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 第本・プンアクセス 国際共著		登読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1.著者名 城阪早紀 4.巻 71 2.論文標題 平家物語「あさましき」こと考 語句分析から伝本の相違を考える(三) 5.発行年 2022年 3.雑誌名 文化学年報 6.最初と最後の頁 417 - 449 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重際共著 - 1.著者名 城阪早紀 4.巻 - 2.論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5.発行年 2022年 3.雑誌名 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6.最初と最後の頁 2-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著	なし	有
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1.著者名 城阪早紀 4.巻 71 2.論文標題 平家物語「あさましき」こと考 語句分析から伝本の相違を考える(三) 5.発行年 2022年 3.雑誌名 文化学年報 6.最初と最後の頁 417 - 449 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重際共著 - 1.著者名 城阪早紀 4.巻 - 2.論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5.発行年 2022年 3.雑誌名 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6.最初と最後の頁 2-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1.著者名 城阪早紀 4.巻 71 2.論文標題 平家物語「あさましき」こと考 語句分析から伝本の相違を考える(三) 5.発行年 2022年 3.雑誌名 文化学年報 6.最初と最後の頁 417 - 449 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重際共著 - 1.著者名 城阪早紀 4.巻 - 2.論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5.発行年 2022年 3.雑誌名 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6.最初と最後の頁 2-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共薬
1. 著者名		自 称八百
域版早紀	オープンチグセスとしている(また、その)をこのる)	-
域版早紀		
域版早紀	1.著者名	4 . 巻
2 . 論文標題 平家物語「あさましき」こと考 語句分析から伝本の相違を考える(三) 3 . 雑誌名 文化学年報 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 1 . 著者名 域版早紀 2 . 論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 3 . 雑誌名 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 3 . 雑誌名 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 相談文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 相談文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 相談文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 画際共著	城阪早纪	71
平家物語「あさましき」こと考 語句分析から伝本の相違を考える(三) 2022年 3 . 雑誌名 文化学年報 6 . 最初と最後の頁 417 - 449 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 域阪早紀 4 . 巻 - 2 . 論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚ー本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2 - 36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	7%/TX T ni	
平家物語「あさましき」こと考 語句分析から伝本の相違を考える(三) 2022年 3 . 雑誌名 文化学年報 6 . 最初と最後の頁 417 - 449 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 域阪早紀 4 . 巻 - 2 . 論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚ー本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2 - 36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	2 *	F 36/-/-
3 . 雑誌名 文化学年報 6 . 最初と最後の頁 417 - 449 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著者名 域阪早紀 4 . 巻 ・ 2 . 論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2 - 36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著		
文化学年報 417 - 449 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無無無 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 域阪早紀 4 . 巻 。 2 . 論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無無無 オープンアクセス 国際共著	平家物語「あさましき」こと考 語句分析から伝本の相違を考える(三)	2022年
文化学年報 417 - 449 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無無無 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 域阪早紀 4 . 巻 。 2 . 論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無無無 オープンアクセス 国際共著		
文化学年報 417 - 449 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無無無 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 域阪早紀 4 . 巻 。 2 . 論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無無無 オープンアクセス 国際共著	3 雑誌名	6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
# オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - コ・著者名 域 原早紀 4・巻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	文化子牛物	417 - 449
# オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - コ・著者名 域 原早紀 4・巻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
# オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - コ・著者名 域 原早紀 4・巻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
# オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - コ・著者名 域 原早紀 4・巻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 城阪早紀 4 . 巻 ・ 2 . 論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 城阪早紀 4 . 巻 - 2 . 論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚ー本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	.60	711
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 城阪早紀 4 . 巻 - 2 . 論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚ー本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	ナープンファトフ	京欧井英
1 . 著者名 城阪早紀 4 . 巻 - 2 . 論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		当 除开者
1 . 著者名 城阪早紀 4 . 巻 - 2 . 論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2-36 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オーブンアクセスとしている(また、その予定である)	<u> </u>
域阪早紀 -		
域阪早紀 -	1 茎老夕	<i>A</i>
2 . 論文標題 平家物語伝本語句対照表試稿 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		구 . '라
平家物語伝本語句対照表試稿 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	UNIX 干和C	-
平家物語伝本語句対照表試稿 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
平家物語伝本語句対照表試稿 2022年 3 . 雑誌名 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 6 . 最初と最後の頁 2-36 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	2 . 論文標題	5 . 発行年
3.雑誌名 6.最初と最後の頁語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無無 オープンアクセス 国際共著		
語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える2-36掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	1 20 10 HE IO.T. HE CO.V. W. BALLO	
語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える2-36掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	2 htt:	6 見知と見後の五
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
なし 無 オープンアクセス 国際共著	語句公析から『賞―木亚宏物語』と『延薦木亚宏物語』の相違を考える	2-36
なし 無 オープンアクセス 国際共著	品可力がから 見 本十本物品』と 延慶本十本物品』の相连を与える	
なし 無 オープンアクセス 国際共著	品刊力が10.50 見 本十多物品』と 延慶本十多物品』の相连を考える	
なし 無 オープンアクセス 国際共著	品刊力作がら 見 平十多物品』と 延慶平十多物品』の相连を考える	
オープンアクセス 国際共著		査
	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
	掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	無
	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	無
	掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	無

│ 1 . 著者名	4 . 巻
	-
2 . 論文標題	5.発行年
『平家物語』「天に仰ぎ」考	2022年
0. 1844.67	6 B71 B46 5 5
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
│ 語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える	38-47
and so that should be a compared to the control of	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
	国际六 有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
4 ***	4 **
1.著者名	4 . 巻
八木智生	-
0 40-1-1707	= 3v./= /=
2.論文標題	5.発行年
『平家物語』の「鬼」と「鬼神」	2022年
I SATURDE OF THE IT	2022—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える	48-64
品刊力刊から 見 本十本物品』と 延慶本十本物品』の相连を考える	40-04
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	
	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
4 # # # #	4 44
1.著者名	4 . 巻
高山卓	-
- AA	
2 . 論文標題	5.発行年
『平家物語』における表現としての「法華」	2022年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
語句分析から『覚一本平家物語』と『延慶本平家物語』の相違を考える	65-73
四刊月刊月で 見 中十本物品』と 煙度中十本物品』の相撲で与える	00-13
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
	四际 代有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	1

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

6. 研究組織

6	. 丗乳組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	嶋中 佳輝		
研究協力者			

6.研究組織(つづき)

. 0	・切れ組織(フラさ)		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者			
研究協力者	髙山 卓 (TAKAYAMA Taku)		

7 . 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------